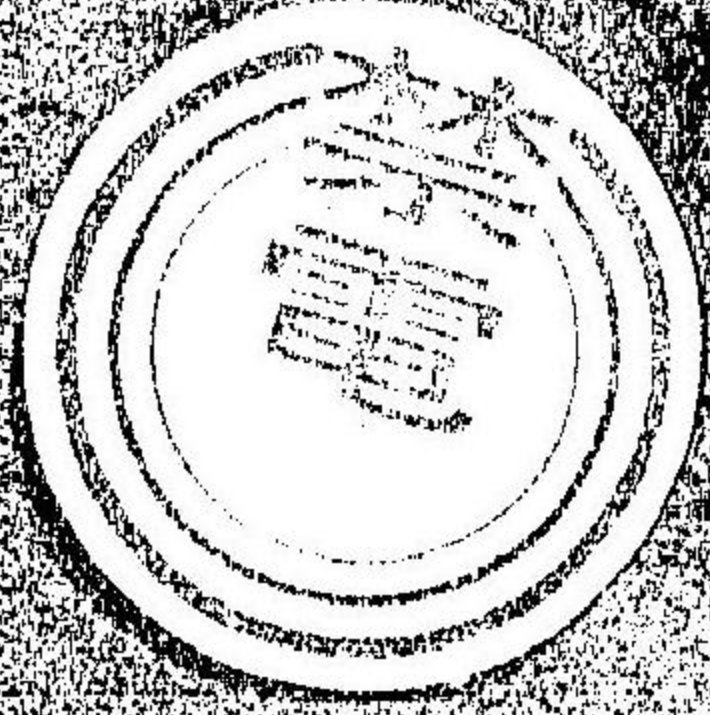


CZ
771
02



官省
公布
部分規則大成

須原量坪編輯

全

須原量坪編輯

官省 公布 部分規則大成

東京

律書房發兌

官省 公布 部分規則大成卷之一

目錄

訴訟法

○ 代理人規則

特60
951

- 第一 明治九年二月廿三日太政官布第十八号訴答文例中代官八ノ條
來三月三十一日限以被廢ノ事
- 第二 同年二月廿二日司法省甲第一号代官人規則被相定ノ事
- 第三 同年二月廿二日司法省達第廿四号代官人規則被相定候ニ付テ
ハ代官願望ノ者ハ右規則ニ照シ可取計ノ事
- 第四 同年二月廿二日司法省達第廿五号代官人規則中手續被相定ノ
事
- 第五 同年二月廿七日司法省達第廿八号代官人規則中第五條但書共ニ以下
十四字删除ノ事

明治九年三月廿一日

C8
971
特 60
954

官部規則大成卷之一

目錄
斷訟法

第一

○ 代理人規則

明治九年二月廿三日太

來三月三十一日限以被

第二

同年三月廿二日司法省

第三

同年二月廿二日司法省

02

同年二月廿二日司法省

第四

同年二月廿二日司法省

第五

同年二月廿七日司法省

明治九年四月廿六日

市第六号訴答規則中代理人ノ條

東本

第十号代理人規則被相定ノ事

第十四号代理人規則被相定候ニ付テ

第十四号代理人規則中第五條但書共ニ以下

第十四号代理人規則中第五條但書共ニ以下

第十四号代理人規則中第五條但書共ニ以下

十四字刪除ノ事



訴訟法

○ 代理人規則

第一 明治九年二月廿日第十八号御布告

明治六年七月第二十四十七号布告 訴答文例中 代理人ノ條 來三月三十一日限廢シ 候條 此旨 布告 候事

但 代理人ノ儀ニ付テハ 別ニ 司法省ヨリ 布達可有之事

第二 同年二月廿二日 司法省 甲第一号

今般 代理人規則 別紙之 通相設ケ 候條 來ル 四月一日ヨリ 以後ハ 右規則 通り 免許ヲ 經サル者へ 代言 相頼 候儀 不相成 候條 此旨 布達 候事

但 四月一日 以後 代理人 無之 且 本人 疾病 事故ニテ 不得已 場合ニ 於テ

ハ 其至親シシ 父子兄弟ノ内之ニ 代ルヲ 得ヘク 若シ 至親無之者ハ 區戸長ノ 証書ヲ 以テ 相當ノ 代人ヲ 出ス 亦不苦

代理人規則

第一條 凡ソ 代理人タラントスル者ハ 先ツ 專ラ 代言ヲ 行ハント 欲スル 裁判所ヲ 示シタル 願各ヲ 記シ 所管 地方官ノ 檢査ヲ 乞フヘシ 地方官之ヲ 檢査スルノ 後 狀ヲ 具シテ 司法省ニ 出ス 然ル 後 其許スヘキ者ハ 司法 郷之レニ 免許 狀ヲ 下付ス

第二條 代理人ヲ 檢査スルハ 左ノ 件々ニ 照スヘシ

- 一 布告 布達 沿革ノ 概略ニ 通スル者
- 二 刑律ノ 概略ニ 通スル者
- 三 現今 裁判 上 手續ノ 概略ニ 通スル者
- 四 本人 品行 并ニ 履歷 如何

第三條

免許ヲ與フヘカサル者左ノ如シ

一 懲役一年以上^{シツケ}実決^{ジツケツ}ノ刑ニ処セラレシ者

二 身代限ノ処分ヲ受ケシ者

三 其地方内ニ定マリタル住居アラサル者

四 官職アル者

但准官吏タル者モ亦同

五 諸官員華士族及ヒ商家其他一般ノ雇人タル者

但雇主承諾ノ証書アル者ハ此限ニアラス

第四條

既ニ免許狀ヲ與フレハ之ヲ司法省并各裁判所ノ代言人名表

ニ^{トシ}登載^{トシ}ス

但免許狀ヲ得タル者ハ必ス該裁判所所在ノ地大区内ニ住居スヘシ

第五條

免許狀ヲ得タル者ハ免許料トシテ金拾円ヲ司法省ニ納メシム

但免許ハ一年ヲ以テ限リトス若シ引續其職務ヲ行ハント欲スル

者ハ^{シツケ}満期ノ節更ニ免許ヲ受クヘシ

第六條

代言人代言ヲ為スハ必スシモ同管轄ノ者ニ限ラス都テ雙方

ノ^{キヤク}協議ニ任スヘシ

但免許セラレタル該裁判所ノ外ハ代言ヲ為スヲ得スト雖モ其或

ハ^{キヤク}控訴等ニテ從前手續ヲ以テ他ノ裁判所ヨリ上等裁判所ニ出ル

カ如キハ此限ニアラス

第七條

代言人ヨリ訴訟本人ニ對シ不正不実ノ証アル時ハ本人ヨリ

何時ニテモ裁判所ヘ其由ヲ届ケタル上ニテ代言ヲ^{シツケ}辨シ更ニ他ノ代

言人ヲシテ代言セシムルヲ得ヘシ

第八條

代言人ハ^{シツケ}訟庭ニ於テ其訴答往復書中ノ趣意^{シツケ}辨明シ裁判官ノ

問ニ答フル者トス若シ其^{シツケ}辨論^{シツケ}端緒ヲ失シ^{シツケ}詞訟ノ本旨ヲ^{シツケ}紊乱シ裁判

ノ妨碍トナル時ハ裁判官之ヲ制止スルヲ得ヘシ
第九條 若シ訴答各中遺漏ノ件アル時ハ更ニ昏取リヲ差出リシメタ
ル上ニ非サレハ代理人其事ヲ辨明スルヲ得ス
第十條 裁判官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ訟庭上原被雙方互ニ辯論ス
ルヲ得ス

第十一條 告達諸規則ノ下ニ付裁判官ニ向テ旨趣ヲ陳述スルヲ得ヘ
シト雖氏其是非及ヒ立法ノ原旨ヲ論議スルヲ得ス

第十二條 代理人疾病事故アリテ本日出席スル能ハサレハ必ス裁判
所へ其旨ヲ届出ヘシ若シ代理人故ナク出頭セズレテ願訟延期スル
時ハ訴訟本人ノ為ニ并ニ相手方ノ為ニ延期ヨリ生シタル費用ヲ償
ハシムヘシ

第十三條 代理人ノ謝金ハ代理人其訴訟本人トノ協議ヲ以テ其高ヲ

預定スル者トス

第十四條

一 訟庭ニ於テ國法ヲ誹議レ及ヒ官吏ヲ侵凌スル者

二 訟庭ニ於テ臆察詐偽ノ辨ヲ為ス者

三 相手方ヲ惡言凌罵シ其面目名譽ヲ汚ス者

四 謝金ヲ斯以シ又ハ過當ノ謝金ヲ貪ル者

五 他人ノ貸借取引等ノ詞訟ヲ買取リ自己ノ利ヲ圖ル者

六 詞訟ヲ教唆スル者

七 故ラニ時日ヲ遷延シテ訴訟本人ノ妨害ヲ為ス者

右ノ如キ者ハ其輕重ヲ量リ裁判官直チニ之ヲ罰スルヲ得其罰目左ノ如シ

- 一 讒責
- 二 停業一月以上
一年以下

三 除名後代理人タルヲ許サス
 但其罪重キ者ハ律ニ依テ処断シ本條罰目ト併セ科スルヲ妨ゲ
 ス尤第三條第一項ニ觸ル、者ハ更ニ代理人タルヲ許サス
 第十五條 此規則ニ掲ケル所ノ者ハ他ノ法律成規ニ相觸ル、ナシ
 第三 同年二月廿二日司法省達第廿四号各裁判所府縣へ達
 今般甲第一号ヲ以代理人規則布達候條來四月一日ヨリ各管下ニ於テ
 代官願望之者ハ右規則ニ照シ可取計此旨相違候事
 但從前代官人現場裁判所へ願掛リ等ノ事件ニテ原被本人ノ請求ニ
 ヲリ其結局ニ至ル迄為取扱候儀ハ格別ノ事
 第四 同年二月廿二日司法省達第廿五号各裁判所府縣へ達
 今般當省甲第一号布達相成候付テハ右施行手續別紙ニ照シ可取扱候
 條此旨相違候事

代官人規則中手續
 第一條 凡ソ代官人タラント欲スル者ハ先ツ其願狀ヲ所管區戸長ニ
 出シ區戸長之ニ奧合シテ該地方廳ニ出ス
 第二條 地方官其願狀ヲ受ケレハ旨ヲ該區戸長ニ下シ其規則中ニ第
 二條及ヒ第三條ニ觸レサルヤ否ヨ具狀セシム
 第三條 地方官其具狀ニ就テ之ヲ審査檢査スルハ各便宜ニ隨フヘシ
 一ノ雖モ必ス本人ヲメ規則第二條中一ヨリ三ニ至ル迄ノ事ニ就テハ
 一ノ議案ヲ出サシムルヲ要ス
 但其議案ニ據リ或ハ問題ヲ設ケテ之カ答案ヲ作ラシムルヲ不ヘシ
 第四條 地方官ニ於テ其可ナリト思料スル者ハ其見込各へ本人出ス
 所ノ願狀并ニ議案或ハ答案及區戸長ノ具狀各ヲ副エテ之ヲ司法省ニ送
 呈ス若シ其不可ナリト思料スル者ハ司法省ニ送呈セス直チニ其願

狀等ヲ本人ニ還付スルハ勿論ナリトス

第五條 司法郷其昏類ヲ取リ之ヲ審議セシメ其許スヘシト決スル者ハ乃チ之ニ下付スルニ免狀ヲ以テシ之ヲ全國代言人表ニ掲載セシム若シ其許ス可カラサル者ハ直チニ之ヲ地方官ニ還付スルハ勿論ナリトス

但免許料ハ十日内ニ之ヲ地方官ニ納メ地方官取纏メ一年四分之ヲ司法省ニ納付ス共ニ贖金收納ノ期限ヲ以テス

第六條 免狀ハ地方官ヲ經シ區戸長ヨリ之ヲ本人ニ付ス本人免狀ヲ受クレハ其免狀ニ届書ヲ添エ所在ノ裁判所ニ出ス裁判官閱シ了レハ各記ニ命シテ其姓名住所族籍年齢等及免許ノ年月日ヲ裁判所代官人表ニ掲載セシメ其免狀ハ本人ニ還付ス

第五 同年二月廿七日司法省達第二十八号各裁判所府縣ハ達

當省本年達第二十五号代言人規則中手續第五條但書共ニ以下十四字
剛除候条此旨相違候事
但一年四次ハ三月六月九月十二月トシ共ニ其翌月十五日納付スル儀ト相心得ヘシ

明治九年三月十五日

編輯出版

須原量坪

第一區九小區尾張町二丁目廿五番地

發行書肆

大坂本町四丁目

東京芝神明前

同淺草茅町二丁目

同本町二丁目角

同日本橋西河岸町

同尾張町二丁目
廿五番地

岡島貞七

牧野吉兵衛

北澤伊八

柳川梅次郎

須原鐵二

律書房



東 京 圖 書 館

函

門

架

部

號

類

CZ
771
02



036371-000-5

CZ-771-02

官省公布部分規則大成

須原 量坪/編

M9

BBR-0017

